

## SC-PROJECTサイレンサーのラインナップはこちら ◀

SC-Projectはイタリアのミラノから南西約16kmの距離に位置する、オートバイ用エキゾーストシステムのメーカーです。サプライヤーとして、MotoGP、Moto2、Moto3及びWSBK(スーパーバイク)といった、最高峰の世界選手権やイタリア国内選手権の現場で活躍しています。SC-Projectの生産工場は、延べ面積で7000㎡以上の敷地に複数の製造部門が展開、うち5000㎡以上が2階建ての屋内にあり、550㎡のオフィス、製造エリア、研究開発部門、実験テスト室、出荷・ロジスティック部門に併設された製品倉庫を備えています。新設の製造部門には、品質・技術レベル共にマーケット最高水準の製品を提供すべく、最先端の全自動(一部は半自動)生産設備を配備しています。



SC-Projectはオートバイ用エキゾーストシステム製造業界におけるリーディングカンパニーです。レースの世界に深く根ざしたSC-Projectは、妥協のない最高水準の性能をお客様にお約束します。SC-Projectはサプライヤーとして、最高峰の世界選手権(MotoGP、WSBK、Moto2、Moto3)とイタリア国内選手権の現場で活躍しています。

### 【最高水準の性能・高い信頼性・最高の技術】

この3要素を備えたエキゾーストシステムを製造するSC-Projectの研究開発部門だからこそ、世界選手権を戦う多くのチームとコラボレーションが可能となります。その結果、性能・仕上げ・使用素材共にトップレベルの製品をお客様にお届けすることができるのです。世界中のサーキットにおける実戦テストと実験に次ぐ実験を通じて培われてきた、SC-Projectの豊富な経験とノウハウは、レースの世界でも一般の公道でも、至上のライディングエクスペリエンスを保証します。



SC-Projectは世界最高峰の選手権で活躍する、複数の有名チームと緊密なコラボレーションを行っています。

2015年にSC-Projectのエキゾーストシステムはフランス人のヨハン・ザルコ選手と共に、Moto2クラスの世界チャンピオンとなりました。

Moto2はマフラーの性能と品質がとりわけ勝利の鍵となるクラスです。



同じく2015年、SC-ProjectはMotoGPクラスに参戦する6人もの選手にマフラーを提供しています。具体的にはフォワード・レーシング所属のステファン・ブラドルとロリス・バズの乗るヤマハMotoGPマシンです。



そして、アスパーとカルディオンABモトレーシングの2チームに所属するニッキー・ヘイデン、ユージン・ラパティ、カレル・アブラハムのホンダMotoGPマシンです。



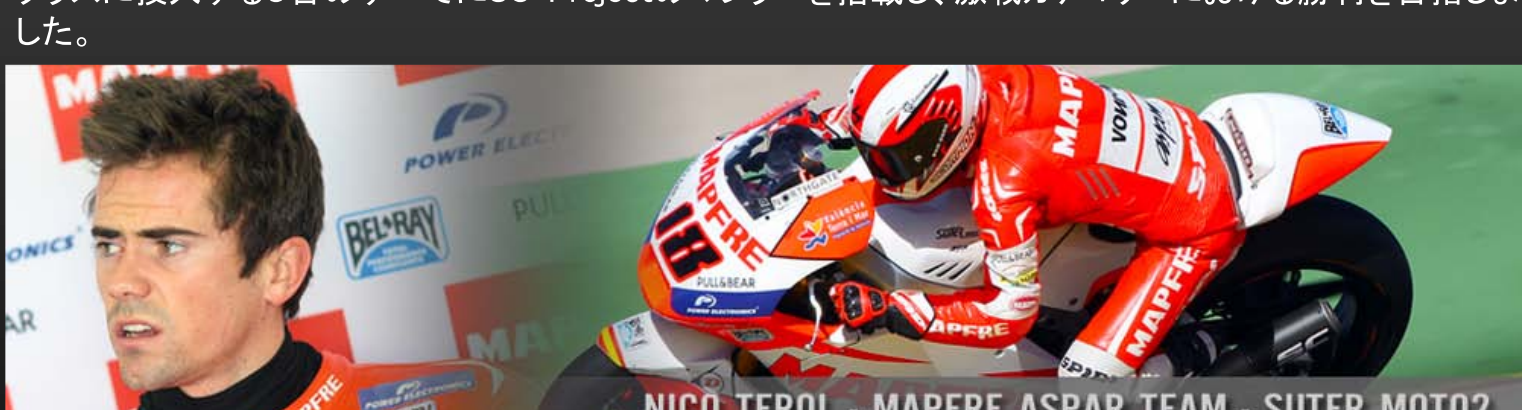
イオダレーシングチーム所属のアレックス・デ・アンジェリスの乗るART(アプリリア・レーシング・テクノロジー)にもSC-Projectのエキゾーストシステムが採用されました。

2015年はMoto2及びMoto3クラスにおけるプレゼンスとパーツ提供も重要なシーズンでした。

こうしたサーキットにおけるSC-Projectの活動は、当社の製品がレースの現場でも必要とされ、その品質と技術、性能が高く評価されている証です。

Moto2では2015年度世界チャンピオンのヨハン・ザルコ(アジオ・モータースポーツ)の他にも、7人の選手にSC-Projectのエキゾーストシステムが採用されました。

Moto3クラスではマヒンドラのファクトリーチームと重要なコラボレーション関係を締結し、同チームはMoto3クラスに投入する9台のすべてにSC-Projectのマフラーを搭載し、激戦カテゴリーにおける勝利を目指しました。



世界選手権で獲得され、進化を遂げた技術はすべて、当社のラインナップするお客様のための公道走行モデル用エキゾーストシステムに直接応用されます。SC-Projectの製品には公道走行のための認可済みバージョンも用意されています。(ユーロモデル)技術の粋を集めた妥協のない製品作り、それがSC-Projectのモットーです。100% MADE IN ITALYの逸品をお届けします。